

山根歯科通信

2018. 7. 1. No.49



今回のテーマ

- インプラント治療の長期経過
- 新しい受付スタッフの紹介
- 山根進理事長が表彰状授与されました
- 高嶺園歯科健診
- 訪問歯科ユニット **VIVA ace**

〒755-0031
宇部市常盤町2丁目5番25号
医療法人社団 山根歯科医院
併設:山根口腔インプラント研究所
0836-21-5512
<http://www.yamanedental.jp>



インプラント治療の長期経過

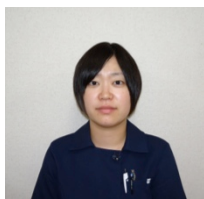
医療法人社団山根歯科医院
理事長 山根 進

インプラントの上部構造を装着後、メンテナンスにはいっていきませんが、長期経過の途中において、いろいろなトラブルが発生してきます。これらのトラブルに対処するには、早期発見が大事で、リカバリーも簡単に済みます。したがって、メンテナンスは必ず、必要であります。トラブルは大きく分けて、上部構造合併症、生物学的合併症に分けられます。①上部構造合併症として一番多いのは、上部構造の破折であります。特に、審美性を考慮して、セラミックで咬合面を作製すると、破折する場合がおおくあります。当院では、前歯部位は天然歯と同じ質感が出せるセラミックにしますが、臼歯部は力が加わりますので、強度の強い白色系のジルコニアを使用しています。ネジの緩み、破折、フレームワークの破折等がおこります②生物学的合併症としては、インプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎があります。インプラント周囲粘膜炎とは、インプラント周囲粘膜に炎症があり、出血、排膿がある病変であり、早めに処置すれば、リカバリーできます。インプラント周囲炎はインプラント周囲粘膜炎に加えて、骨吸収が観察される病変であります。原因は口腔清掃の不良によりインプラント周囲に炎症がおこり、それに咬む力が加わると、インプラント周囲の歯槽骨が吸収していきます。インプラント周囲の骨がなくなり、動揺をきたしたり、インプラント全体を粘膜で覆われたりすると、インプラントを摘出することになります。

このインプラント周囲炎になると、処置をしてもリカバリーは難しく、4、5年先に再発することがあります。したがって、自分での口腔清掃を十分してもらうことも大事ですが、メンテナンスで来院して、歯科衛生士に口腔清掃の状態を点検してもらい、口腔清掃をしてもらうことが大事だとも思います。

生物学的合併症	インプラント周囲粘膜炎	インプラント周囲炎
---------	-------------	-----------

新しい受付スタッフの紹介



福永 千佳

この度、山根歯科医院で働くことになりました。実家は青森です。山口県歴6年です。こちらの地理はまだよくわかっていません。歯科事務の経験もないのでみなさまにご迷惑をおかけするかもしれませんが一生懸命頑張りますのであたたかく見守ってください。これからよろしくお願いします。



福本 江理子

月に4, 5回程度の勤務で皆様にお目にかかることは少ないとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



弘岡 淳子

6月から受付でお世話になっております。患者様に和やかな笑顔と優しい言葉がけ「和顔愛語」をモットーにして、日々努力してまいります。これからどうぞ宜しくお願い致します。

山根理事長表が表彰状授与されました



長年に亘り学校歯科保健の発展向上に貢献したことによりその功績が称えられ表彰されました。名誉ある表彰を頂き山根進理事長はじめスタッフ一同今後の診療も力を注いでいきます。

高嶺園歯科健診



今年も高嶺園にて、歯科健診と口腔衛生指導を行いました。山根理事長が健診を、衛生士二人が染め出しとブラッシング指導を行っている様子です。

訪問歯科診療ユニット VIVA ace

山根歯科医院に新しい訪問歯科診療用のユニットが加わりました。これまで当院の訪問歯科診療は入れ歯の調整等が中心でしたが、この機材で虫歯の治療なども可能になりました。

寝たきりなどで外出できないけれど、治療を受けたいというご家族の方がおられましたら、スタッフまでご相談ください。

